

# グローイング・ブラジル 株式ファンド

## 運用報告書(全体版)

第6期(決算日2016年6月20日)

作成対象期間(2015年12月22日～2016年6月20日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

#### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式	
信託期間	2013年8月2日から2023年6月19日までです。	
運用方針	ノムラブラジル株式マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、主としてブラジルの企業の株式(DR(預託証券)を含みます。)に投資し、信託財産の成長をはかることを目的として積極的な運用を行います。実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主な投資対象	グローイング・ブラジル株式ファンド	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	ブラジルの企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	グローイング・ブラジル株式ファンド	株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益と売買益等から、配当等収益等の水準および基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

## 野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104  
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税金分配	み入金騰落	期中騰落	期中率			
	円	円			%	%	%	百万円
2期(2014年6月19日)	11,213	200		122.08	13.8	95.7	—	5
3期(2014年12月19日)	9,819	0	△12.4	105.49	△13.6	92.1	—	8
4期(2015年6月19日)	9,500	0	△3.2	107.79	2.2	91.3	—	8
5期(2015年12月21日)	6,582	0	△30.7	67.19	△37.7	91.6	—	6
6期(2016年6月20日)	6,856	0	4.2	76.86	14.4	94.6	—	7

\* 基準価額の騰落率は分配金込み。

\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\* 参考指数 (=MSCIブラジル10/40インデックス (円換算ベース)) は、MSCIブラジル10/40インデックス (配当込み・ブラジルリアルベース) をもとに、当社が独自に円換算したものです。算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算しております。なお、設定時を100として指数化しています。  
 \* MSCIブラジル10/40インデックス (配当込み・ブラジルリアルベース) は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。  
 (出所: MSCI、ブルームバーグ)

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	騰落	率	騰落	率		
(期首)	円	%		%	%	%
2015年12月21日	6,582	—	67.19	—	91.6	—
12月末	6,724	2.2	68.61	2.1	91.2	—
2016年1月末	5,763	△12.4	58.25	△13.3	90.5	—
2月末	5,913	△10.2	59.78	△11.0	91.0	—
3月末	7,520	14.3	80.37	19.6	91.9	—
4月末	7,886	19.8	84.98	26.5	96.1	—
5月末	6,928	5.3	76.90	14.4	93.1	—
(期末)						
2016年6月20日	6,856	4.2	76.86	14.4	94.6	—

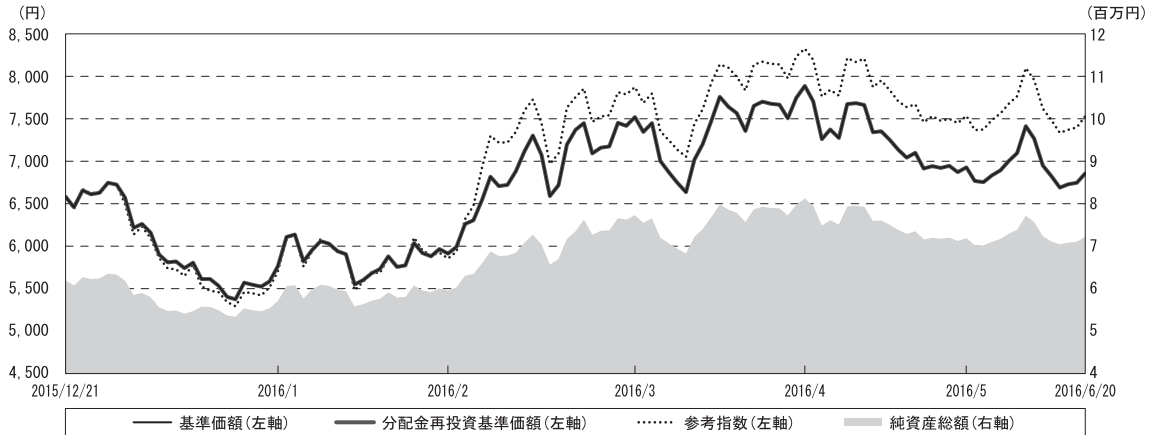
\* 騰落率は期首比です。

\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



期首：6,582円

期末：6,856円(既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：4.2%(分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2015年12月21日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、MSCIブラジル10/40インデックス(円換算ベース)です。作成期首(2015年12月21日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首6,582円から期末6,856円となりました。

- (下落) 原油などの商品価格が下落したこと、中国景気の先行き不安感が高まったこと、通貨レアルが対円で下落(円高)したこと
- (上昇) FRB(米連邦準備制度理事会)が年内の利上げペースの鈍化を示唆したこと、通貨レアルが対円で上昇(円安)したこと
- (上昇) ブラジルの下院特別委員会でルセフ大統領の弾劾勧告が可決されたことなどを受け、ルセフ大統領退陣への期待が高まったこと
- (下落) FRBが追加利上げを実施する観測が広がったこと、イギリスでEU(欧州連合)離脱の可否を問う国民投票の行方に対する不透明感から、世界的にリスク回避の動きが強まったこと

## ○投資環境

ブラジル株式市場は、中国景気の先行き不安感の高まりや原油などの商品価格の下落などを背景に市場のリスク回避姿勢が強まる中、期初から2016年1月にかけて大きく下落しました。その後、2月の中旬から原油価格の上昇などから反発基調となり、3月に入ると月初に中国の景気浮揚策が発表され、月の半ばのFOMC（米連邦公開市場委員会）で年内の利上げペースの鈍化が示唆されたことなどから大幅に上昇しました。4月には、ブラジルの下院特別委員会でルセフ大統領の弾劾勧告が可決されたことや連立政権から離脱する政党が現れたことなどから、ルセフ大統領の退陣に対する期待が高まったことを背景に上昇しました。その後、5月には、米国が6月にも追加利上げを実施するとの観測が広がったことから下落に転じましたが、期を通じては上昇となりました。

為替市場では、原油など商品価格の下落からレアルは下落基調となりましたが、3月のFOMCで年内の利上げペースの鈍化が示唆されたことや、商品価格の上昇及びルセフ大統領の弾劾により新政権が誕生し財政再建が進むことなどへの期待感から上昇し、期を通じてはレアルは対円で小幅な動きとなりました。

## ○当ファンドのポートフォリオ [グローイング・ブラジル株式ファンド]

主要投資対象である[ノムラブラジル株式マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れました。

### ・株式組入比率

実質株式組入比率は、期を通じて高位を維持しました。

### ・為替ヘッジ

実質外貨建て資産につきましては、為替ヘッジを行いませんでした。

## [ノムラブラジル株式マザーファンド]

### ・株式組入比率

株式組入比率は、期を通じて高位を維持しました。

### ・期中の主な動き

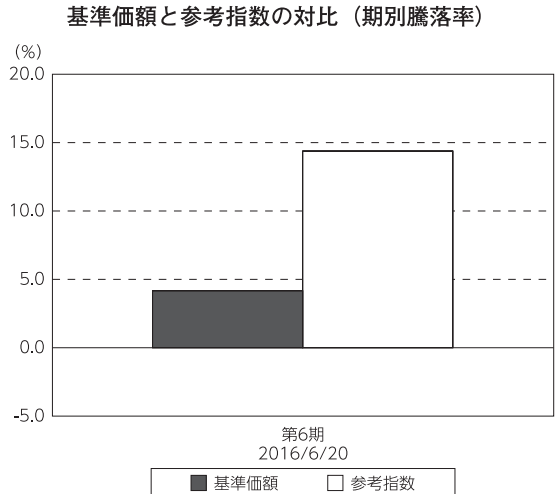
- (1) 株式への投資にあたっては、定量的なスクリーニングに従ってランキングされた銘柄群から、投資先候補企業への綿密な調査に基づいたファンダメンタルズ（基礎的条件）分析により投資銘柄を選別しました。
- (2) セクター分散等を考慮した上で、定量モデルにより最適化を行い、ポートフォリオを構築しました。
- (3) 個別銘柄では、期末時点でPETROBRAS-PETROLEO BRASILEIRO-PR（石油・ガス・消耗燃料）、BANCO BRADESCO SA-PREF（銀行）、ITAUSA-INVESTIMENTOS ITAU-PR（銀行）などを組入上位銘柄としました。
- (4) 為替につきましては、ヘッジを行いませんでした。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数が14.4%上昇したのに対し、基準価額は4.2%の上昇となりました。株価騰落率が参考指数を下回った素材セクターや資本財・サービスセクターをオーバーウェイト（参考指数と比べ高めの投資比率）としたことなどが主な差異要因となりました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、MSCI ブラジル 10/40 インデックス（円換算ベース）です。

## ◎分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準等を勘案し、見送らせていただきました。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第 6 期
	2015年12月22日～ 2016年6月20日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,706

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ◎今後の運用方針

### [ノムラブラジル株式マザーファンド]

ブラジルでは、ルセフ大統領に対する弾劾法廷が設置され、最長で180日間の職務停止が決まりました。停職期間中はテメル副大統領が暫定大統領を務めることになり、就任後新たな財務相を任命するなどブラジルの政治情勢は引き続き先行きの見通せない状況が続いております。政治情勢がブラジル株式市場に与える影響力は強まっており、今後もその動向を注視していきます。また、中国における政府の景気対策や産油国の原油生産動向はブラジル経済の行方に影響を及ぼすことから、引き続き、ブラジル国内の政治情勢に加え、商品市況の動向などを注視して運用を行います。

銘柄選択は、

- ① 予想収益、成長性、予想配当利回り、リスク／流動性調整後のバリュエーション（投資価値評価）等の観点から定量的スクリーニングに従ってランキングし、自動的に投資基準を満たさない銘柄を投資ユニバース（母集団）から除外します。
- ② 多数の基準に従って銘柄を選考した後、更なる追加的なアルファ（超過収益）の投資機会を得るため、マクロ経済シナリオ、セクタートレンド、配当政策、コーポレートガバナンス（企業統治）等の観点から分析します。
- ③ サイズ、セクター分散等を考慮した上で、定量モデルによる最適化を行います。株式組入比率は、原則として高位を基本とします。なお、現地市場が休場の場合や市況動向等によっては、一時的に株式組入比率を引き下げることがあります。

### [グローイング・ブラジル株式ファンド]

主要投資対象である[ノムラブラジル株式マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産につきましては為替ヘッジを行わない方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2015年12月22日～2016年 6月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	円 69 (33) (33) ( 3 )	% 1.010 (0.483) (0.483) (0.043)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率  ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等  購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等  ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	3 ( 3 )	0.051 (0.051)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	1 ( 1 )	0.019 (0.019)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( 監 査 費 用 ) ( そ の 他 )	18 (18) ( 0 ) ( 0 )	0.271 (0.268) (0.002) (0.001)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数  保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用  監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用  信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	91	1.351	
期中の平均基準価額は、6,789円です。			

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2015年12月22日～2016年6月20日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ノムラブラジル株式マザーファンド	千口 1,285	千円 809	千口 243	千円 159

\*単位未満は切り捨て。

## ○株式売買比率

(2015年12月22日～2016年6月20日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	ノムラブラジル株式マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	314,993千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	513,786千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.61	

\* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2015年12月22日～2016年6月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○自社による当ファンドの設定、解約状況

(2015年12月22日～2016年6月20日)

期首残高 (元 本)	当期設定 元 本	当期解約 元 本	期末残高 (元 本)	取引の理由
百万円 1	百万円 —	百万円 —	百万円 1	当初設定時における取得



## ○組入資産の明細

(2016年6月20日現在)

## 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ノムラブラジル株式マザーファンド	千口 9,433	千口 10,475	千円 7,136

\*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

(2016年6月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ノムラブラジル株式マザーファンド	千円 7,136	% 97.9
コール・ローン等、その他	150	2.1
投資信託財産総額	7,286	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*ノムラブラジル株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（549,757千円）の投資信託財産総額（552,131千円）に対する比率は99.6%です。

\*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=104.69円、1リアル=30.65円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年6月20日現在)

○損益の状況 (2015年12月22日～2016年6月20日)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	7,286,860
コール・ローン等	150,614
ノムブラジル株式マザーファンド(評価額)	7,136,246
(B) 負債	68,434
未払信託報酬	68,305
その他未払費用	129
(C) 純資産総額(A-B)	7,218,426
元本	10,528,289
次期繰越損益金	△ 3,309,863
(D) 受益権総口数	10,528,289口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,856円

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	374,873
売買益	380,187
売買損	△ 5,314
(B) 信託報酬等	△ 68,434
(C) 当期損益金(A+B)	306,439
(D) 前期繰越損益金	△2,956,652
(E) 追加信託差損益金	△ 659,650
(配当等相当額)	( 1,319,653)
(売買損益相当額)	(△1,979,303)
(F) 計(C+D+E)	△3,309,863
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	△3,309,863
追加信託差損益金	△ 659,650
(配当等相当額)	( 1,320,951)
(売買損益相当額)	(△1,980,601)
分配準備積立金	475,303
繰越損益金	△3,125,516

(注) 期首元本額は9,407,726円、期中追加設定元本額は1,293,297円、期中一部解約元本額は172,734円、1口当たり純資産額は0.6856円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額1,498,343円。(ノムブラジル株式マザーファンド)

\*損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\*損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2015年12月22日～2016年6月20日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2015年12月22日～ 2016年6月20日
a. 配当等収益(経費控除後)	95,413円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	1,320,951円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	379,890円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	1,796,254円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	1,706円
g. 分配金	0円
h. 分配金(1万口当たり)	0円

## ○分配金のお知らせ

---

1 万口当たり分配金 (税込み)	0円
------------------	----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合  
分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合  
分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合  
分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

## ○お知らせ

---

ノムラブラジル株式マザーファンドの運用の外部委託先であるARX インベスティメントス LTDA (ARX INVESTIMENTOS LTDA) が受ける報酬について、マザーファンドの信託財産の純資産総額の日々の平均値に応じた段階料率制を撤廃する所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2016年3月17日>

# ノムラブラジル株式マザーファンド

## 運用報告書

第8期（決算日2016年6月20日）

作成対象期間（2015年6月20日～2016年6月20日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	ブラジルの企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とし、信託財産の成長をはかることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。 株式への投資にあたっては、定量的なスクリーニングに従ってランキングされた銘柄群から、投資先候補企業への綿密な調査に基づいたファンダメンタルズ分析により投資銘柄を選別します。ポートフォリオ構築にあたっては、セクター分散等を考慮した上で、定量モデルにより最適化を行います。外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	ブラジルの企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。

**野村アセットマネジメント**

東京都中央区日本橋1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	円	騰落率	参考指数	騰落率			
4期(2012年6月19日)	7,980	△19.2	65.45	△21.9	96.5	—	3,031
5期(2013年6月19日)	9,491	18.9	75.05	14.7	94.6	—	1,924
6期(2014年6月19日)	10,798	13.8	91.30	21.7	96.7	—	1,373
7期(2015年6月19日)	9,304	△13.8	80.61	△11.7	92.2	—	784
8期(2016年6月20日)	6,812	△26.8	57.48	△28.7	95.7	—	550

\*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

\*参考指数（＝MSCIブラジル10/40インデックス（円換算ベース））は、MSCIブラジル10/40インデックス（配当込み・ブラジルリアルベース）をもとに、当社が独自に円換算したものです。算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算しております。なお、設定時を100として指数化しています。  
 \*MSCIブラジル10/40インデックス（配当込み・ブラジルリアルベース）は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。  
 (出所：MSCI、ブルームバーグ)

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	円	騰落率	参考指数	騰落率		
(期首) 2015年6月19日	9,304	—	80.61	—	92.2	—
6月末	9,093	△2.3	77.28	△4.1	92.4	—
7月末	8,244	△11.4	68.78	△14.7	92.8	—
8月末	7,306	△12.5	59.82	△25.8	90.8	—
9月末	6,319	△32.1	48.63	△39.7	92.6	—
10月末	6,756	△27.4	53.66	△33.4	95.0	—
11月末	7,119	△23.5	55.25	△31.5	93.6	—
12月末	6,623	△28.8	51.31	△36.4	92.0	—
2016年1月末	5,667	△39.1	43.57	△46.0	91.3	—
2月末	5,828	△37.4	44.71	△44.5	91.7	—
3月末	7,439	△20.0	60.11	△25.4	92.4	—
4月末	7,814	△16.0	63.55	△21.2	96.5	—
5月末	6,876	△26.1	57.51	△28.7	93.4	—
(期末) 2016年6月20日	6,812	△26.8	57.48	△28.7	95.7	—

\*騰落率は期首比です。

\*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



### ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首の9,304円から期末6,812円となりました。

- (下落) 原油や鉄鉱石などの商品市況が下落したこと、中国株式が急落したこと、ルセフ政権が進める財政緊縮策に反対する議会との対立が強まったこと
- (下落) 中国が通貨人民元の実質的な切り下げを実施したこと、9月下旬には大手格付会社がブラジル国債の格下げを実施したこと、通貨レアルが対米ドル、対円で急落（円高）したこと
- (上昇) ルセフ大統領が議会での支持率回復と財政再建を目指し内閣改造に踏み切ったこと
- (下落) 12月半ばに開催されたFOMC（米連邦公開市場委員会）で米国が利上げを実施したこと、原油価格が下落基調を強めたこと
- (下落) 原油などの商品価格が下落したこと、中国景気の先行き不安感が高まったこと、通貨レアルが対円で下落（円高）したこと
- (上昇) FRB（米連邦準備制度理事会）が年内の利上げペースの鈍化を示唆したこと、通貨レアルが対円で上昇（円安）したこと

- (上昇) ブラジルの下院特別委員会でルセフ大統領の弾劾勧告が可決されたことなどを受け、ルセフ大統領退陣への期待が高まったこと
- (下落) FRBが追加利上げを実施する観測が広がったこと、イギリスでEU（欧州連合）離脱の可否を問う国民投票の行方に対する不透明感から、世界的にリスク回避の動きが強まったこと

## ○投資環境

ブラジル株式市場は、2015年8月下旬に中国が通貨人民元の実質的な切り下げを実施し、また、9月下旬には大手格付会社がブラジル国債の格下げを実施したことで、市場は大幅下落となりました。その後、ルセフ大統領が議会での支持率回復と財政再建を目指し内閣改造に踏み切ったことなどから反発する場面も見られましたが、12月半ばのFOMC（米連邦公開市場委員会）で米国が利上げを実施したことや、中国景気の先行き不安感の高まりや原油などの商品価格の下落などを背景に市場のリスク回避姿勢が強まったことから、2016年1月にかけて大きく下落しました。その後、2月の中旬から原油価格の上昇などから反発基調となり、3月に入ると月初に中国の景気浮揚策が発表され、月半ばのFOMCで年内の利上げペースの鈍化が示唆されたことなどから大幅に上昇しました。4月には、ブラジルの下院特別委員会でルセフ大統領の弾劾勧告が可決されたことや連立政権から離脱する政党が現れたことなどから、ルセフ大統領の退陣に対する期待が高まったことを背景に上昇しました。その後、5月には米国が6月に追加利上げを実施するとの観測が広がったことから下落に転じ、期を通じては下落となりました。

為替市場では、ブラジルの政治的混乱や大手格付会社によるブラジル国債格下げの動きなどを嫌気し、原油など商品価格の下落から、レアルは下落基調となりました。その後、3月のFOMCで年内の利上げペースの鈍化が示唆されたことや、商品価格の上昇及びルセフ大統領の弾劾により新政権が誕生し財政再建が進むことなどへの期待感からレアルは上昇しましたが、期を通じては対円で下落（円高）となりました。

## ○当ファンドのポートフォリオ

### ・株式組入比率

株式組入比率は、期を通じて高位を維持しました。

### ・期中の主な動き

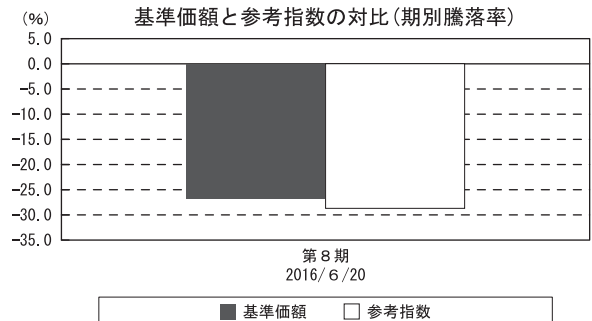
- (1) 株式への投資にあたっては、定量的なスクリーニングに従ってランキングされた銘柄群から、投資先候補企業への綿密な調査に基づいたファンダメンタルズ(基礎的条件)分析により投資銘柄を選別しました。
- (2) セクター分散等を考慮した上で、定量モデルにより最適化を行い、ポートフォリオを構築しました。
- (3) 個別銘柄では、期末時点でPETROBRAS-PETROLEO BRASILEIRO-PR (石油・ガス・消耗燃料)、BANCO BRADESCO SA - PREF (銀行)、ITAUSA-INVESTIMENTOS ITAU-PR (銀行)などを組入上位銘柄としました。
- (4) 為替につきましては、ヘッジを行いませんでした。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数が28.7%下落したのに対し、基準価額は26.8%の下落となりました。株価騰落率が参考指数を下回ったエネルギーセクターをアンダーウェイト(参考指数と比べ低めの投資比率)としたことなどが主な差異要因となりました。



(注) 参考指数は、MSCIブラジル10/40インデックス(円換算ベース)です。



## ◎今後の運用方針

ブラジルでは、ルセフ大統領に対する弾劾法廷が設置され、最長で180日間の職務停止が決まりました。停職期間中はテメル副大統領が暫定大統領を務めることになり、就任後新たな財務相を任命するなどブラジルの政治情勢は引き続き先行きの見通せない状況が続いております。政治情勢がブラジル株式市場に与える影響力は強まっており、今後もその動向を注視していきます。また、中国における政府の景気対策や産油国の原油生産動向はブラジル経済の行方に影響を及ぼすことから、引き続き、ブラジル国内の政治情勢に加え、商品市況の動向などを注視して運用を行います。

銘柄選択は、

- ①予想収益、成長性、予想配当利回り、リスク／流動性調整後のバリュエーション（投資価値評価）等の観点から定量的スクリーニングに従ってランキングし、自動的に投資基準を満たさない銘柄を投資ユニバース（母集団）から除外します。
- ②多数の基準に従って銘柄を選考した後、更なる追加的なアルファ（超過収益）の投資機会を得るため、マクロ経済シナリオ、セクタートレンド、配当政策、コーポレートガバナンス（企業統治）等の観点から分析します。
- ③サイズ、セクター分散等を考慮した上で、定量モデルによる最適化を行います。株式組入比率は、原則として高位を基本とします。なお、現地市場が休場の場合や市況動向等によっては、一時的に株式組入比率を引き下げることがあります。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしく願いいたします。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2015年6月20日～2016年6月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	円 6 ( 6 )	% 0.090 (0.090)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	2 ( 2 )	0.032 (0.032)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	37 (36) ( 1 )	0.524 (0.512) (0.011)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数  保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用  信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	45	0.646	
期中の平均基準価額は、7,090円です。			

\*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○ 売 買 及 び 取 引 の 状 況

(2015年6月20日～2016年6月20日)

## 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 — ( 2 )	千米ドル — ( 一 )	百株 —	千米ドル —
	ブラジル	11,057 ( 1,903 )	千リアル 9,550 ( 408 )	7,204 ( 125 )	千リアル 9,211 ( 26 )

\*金額は受け渡し代金。

\*単位未満は切り捨て。

\*( )内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○株式売買比率

(2015年6月20日～2016年6月20日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	581,952千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	548,541千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.06

\* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2015年6月20日～2016年6月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2016年6月20日現在)

## 外国株式

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額	評 価 額	
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
BANCO BRADESCO-SPONSORED ADR	22	24	17	1,811	銀行
CIA PARANAENSE ENER-SP ADR P	304	304	239	25,078	電力
GERDAU SA -SPON ADR	165	165	28	2,980	金属・鉱業
PETROLEO BRASILEIRO-SPON ADR	23	23	11	1,242	石油・ガス・消耗燃料
TELEFONICA BRASIL-ADR	13	13	15	1,619	各種電気通信サービス
ULTRAPAR PARTICIPAC- SPON ADR	34	34	70	7,366	石油・ガス・消耗燃料
小 計	株 数	株 数	383	40,099	
	銘 柄 数 < 比 率 >	6	6	< 7.3% >	
(ブラジル)			千レアル		
CIA DE GAS DE SAO PAULO-PR A	33	—	—	—	ガス
CIA PARANAENSE DE ENERGI-PFB	79	107	287	8,814	電力
VALE SA-PREF A	—	580	711	21,800	金属・鉱業
BANCO DO BRASIL SA	216	220	352	10,800	銀行
AES TIETE SA	304	—	—	—	独立系発電事業者・エネルギー販売業者
ITAUSA-INVESTIMENTOS ITAU-PR	1,561	1,853	1,323	40,553	銀行
LOJAS AMERICANAS S. A. (PREF)	387	206	304	9,321	複合小売り
LOJAS AMERICANAS SA	144	277	290	8,896	複合小売り
MARCOPOLO SA-PREF	—	992	223	6,847	機械
GERDAU SA PFD NPV	608	797	468	14,353	金属・鉱業
METALURGICA GERDAU SA-PREF	750	4,199	844	25,872	金属・鉱業
PETROBRAS-PETROLEO BRAS-PR	244	1,868	1,672	51,259	石油・ガス・消耗燃料
BANCO BRADESCO SA - PREF	551	653	1,581	48,486	銀行
SUZANO PAPEL E CELULOSE SA-PREF	1,128	598	714	21,901	紙製品・林産品

銘柄	株数	当期		業種等		
		株数	評価額			
			外貨建金額		邦貨換算金額	
(ブラジル)	百株	百株	千レアル	千円		
CPFL ENERGIA SA	—	140	283	8,694	電力	
ITAU UNIBANCO HOLDING SA-PREF	166	221	639	19,610	銀行	
FIBRIA CELULOSE SA	142	—	—	—	紙製品・林産品	
IOCHPE-MAXION SA	—	222	319	9,799	機械	
TRACTEBEL ENERGIA SA	142	105	381	11,706	独立系発電事業者・エネルギー販売業者	
EDP - ENERGIAS DO BRASIL SA	997	458	577	17,705	電力	
ULTRAPAR PARTICIPACOES	102	49	348	10,687	石油・ガス・消耗燃料	
COSAN SA INDUSTRIA E COMERCIO	71	78	255	7,827	石油・ガス・消耗燃料	
EMBRAER SA	228	296	533	16,342	航空宇宙・防衛	
MARFRIG GLOBAL FOODS SA	1,434	991	567	17,384	食品	
BANCO ESTADO RIO GRANDE SUL	156	—	—	—	銀行	
ALIANSCA SHOPPING CENTERS SA	301	—	—	—	不動産管理・開発	
SANTOS BRASIL PARTICIPACOES	275	294	347	10,655	運送インフラ	
BM&F BOVESPA SA	846	451	725	22,221	各種金融サービス	
TELEFONICA BRASIL-PREF	173	164	662	20,301	各種電気通信サービス	
CETIP SA-MERCADOS ORGANIZADO	125	34	142	4,374	資本市場	
CIA BRASILEIRA DE DISTR-PREF	—	102	447	13,719	食品・生活必需品小売り	
ELETROPOLITANO METROPOLI-PREF	—	431	286	8,785	電力	
KLABIN SA-UNIT	—	133	213	6,541	容器・包装	
EDP - ENERGIAS DO BRASIL - RCT	—	127	157	4,838	電力	
AES TIETE ENERGIA SA-UNIT	—	144	197	6,068	独立系発電事業者・エネルギー販売業者	
小計	株数・金額	11,171	16,801	15,862	486,172	
	銘柄数<比率>	26	30	—	<88.4%>	
合計	株数・金額	11,733	17,366	—	526,271	
	銘柄数<比率>	32	36	—	<95.7%>	

\* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\* 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

\* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

\* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

## ○投資信託財産の構成

(2016年6月20日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円	%
	526,271	95.3
コール・ローン等、その他	25,860	4.7
投資信託財産総額	552,131	100.0

\* 金額の単位未満は切り捨て。

\* 当期末における外貨建て純資産（549,757千円）の投資信託財産総額（552,131千円）に対する比率は99.6%です。

\* 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=104.69円、1レアル=30.65円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年6月20日現在)

項 目	当 期 末 円
(A) 資産	569,554,228
コール・ローン等	22,707,505
株式(評価額)	526,271,486
未収入金	17,422,583
未収配当金	3,152,654
(B) 負債	19,394,003
未払金	17,494,000
未払解約金	1,900,000
未払利息	3
(C) 純資産総額(A-B)	550,160,225
元本	807,588,396
次期繰越損益金	△257,428,171
(D) 受益権総口数	807,588,396口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,812円

(注) 期首元本額は843,241,851円、期中追加設定元本額は102,584,727円、期中一部解約元本額は138,238,182円、1口当たり純資産額は0.6812円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額  
 ・りそなブラジル株式ファンド 780,487,614円  
 ・ノムラブラジル株式ファンドVA (適格機関投資家専用) 16,624,789円  
 ・グローイング・ブラジル株式ファンド 10,475,993円

## ○損益の状況 (2015年6月20日～2016年6月20日)

項 目	当 期 円
(A) 配当等収益	20,153,428
受取配当金	20,147,625
受取利息	6,696
支払利息	△ 893
(B) 有価証券売買損益	△225,854,415
売買益	49,103,261
売買損	△274,957,676
(C) 保管費用等	△ 3,084,182
(D) 当期損益金(A+B+C)	△208,785,169
(E) 前期繰越損益金	△ 58,687,370
(F) 追加信託差損益金	△ 29,968,224
(G) 解約差損益金	40,012,592
(H) 計(D+E+F+G)	△257,428,171
次期繰越損益金(H)	△257,428,171

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

\*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○お知らせ

①有価証券の指図範囲に新投資口予約権証券を加える所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2015年8月3日>

②運用の外部委託先であるARX インベスティメントス LTDA (ARX INVESTIMENTOS LTDA) が受ける報酬について、信託財産の純資産総額の日々の平均値に応じた段階料率制を撤廃する所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2016年3月17日>

### <お申し込み時の留意点>

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようお願いいたします。

(2016年6月20日現在)

年 月	日
2016年6月	－
7月	4
8月	－
9月	5、7
10月	12
11月	2、11、15、24
12月	26、30

※2016年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご留意下さい。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。